

経営比較分析表（令和4年度決算）

青森県おいらせ町 国民健康保険おいらせ病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
25,284	3,817	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
78	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	78
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
61	-	61

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の役割・ネットワークをきむ）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

少子高齢化と在宅医療ニーズの増加により、高齢者医療を中心とする地域病院としての役割を担うべく、町内の医療機関及び近隣の介護・福祉施設と連携して医療を進めている。
新型コロナウイルス感染症への対応として、診療検査医療機関として、地域の発熱患者の診療を行っている。また、地域の新型コロナウイルスの感染拡大防止のため保健所依頼の検体採取やワクチン接種業務を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度は、前年度と比較し病床利用率の低下により入院収益が減少したものの、外来収益が増加したことや、前年に引き続き新型コロナウイルス感染症関連の検体採取委託料やワクチン接種費等による収入等により経常収支比率が100%を超え、累積欠損金が減少した。

類似病院平均値と比較して高い入院患者1人1日当たり収益の水準を今後も保ちつつ、地域に必要とされる新しい診療科を設けるなど外来患者数の増に努めることで、外来収益を確保していく。

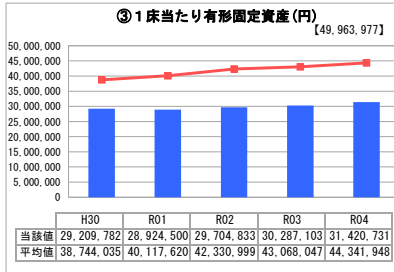
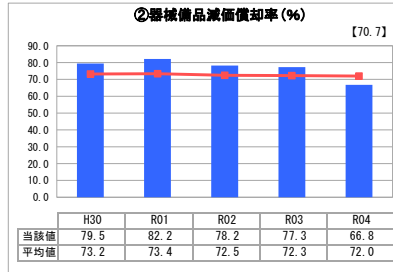
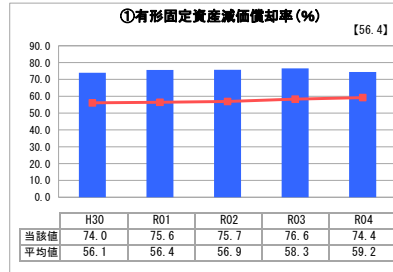
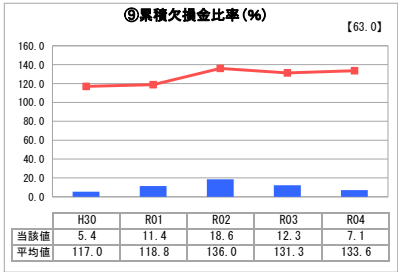
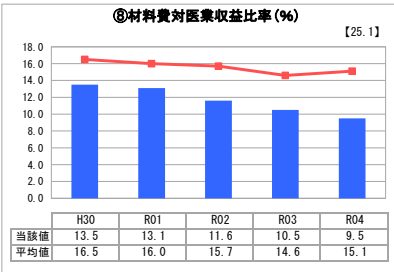
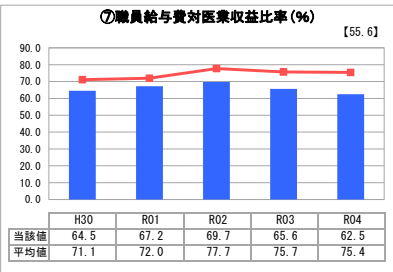
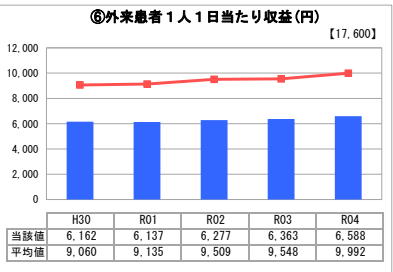
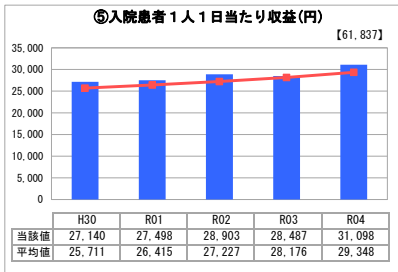
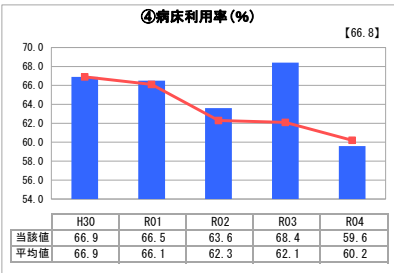
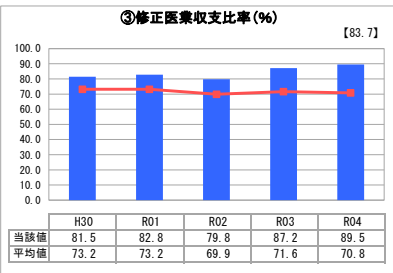
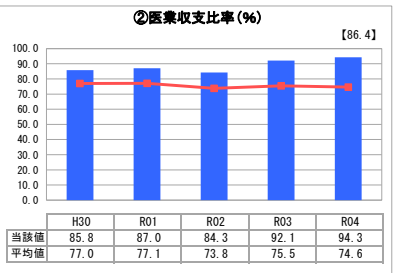
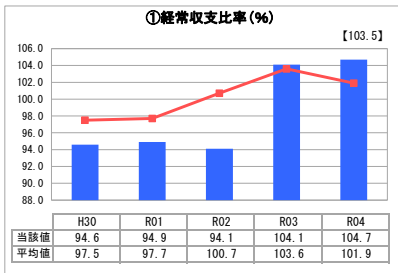
2. 老朽化の状況について

建物は建築から40年経過しているが、大規模リフォームを2回実施し、耐震性もあるため、耐用年数までは補修で対応する。
現病院は青森県太平洋想定地震の浸水区域にあたり、医療体制の安全確保を図るため、移転建替えを検討している。
また、器械備品においては精査し、除却を行っていく。

全体総括

医療圏の中核病院等との連携体制の強化に努めるとともに、一般病床と地域包括ケア病床とのバランスを見極めながら、急性期から一部回復期への病床機能変更を検討し、病床利用率の向上と効率的かつ効果的な医療体制の構築を図る。
また、在宅復帰した患者の訪問診療体制の強化及び地域のニーズに応えた診療科の増について推進することにより、外来患者数の増を目指し、収益を確保していく。
新型コロナウイルス感染症に対しても、発熱患者への対応等について自治体病院としての使命と役割を果たしていく。

1. 経営の健全性・効率性



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。